

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
27-99	高等学校	外国語	英語表現 I	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
231 いいずな	英 I 340	be English Expression I Standard		

## 1. 編修の趣旨及び留意点

教育基本法第2条の求めるところは、「道徳心を基盤とする学びの態度を身につけた、未来を切り開く主体性のある日本人を育成すること」であると捉え、そのことこそが、生徒の「生きる力をつける教育」につながるという考えのもとに、第2条の1～5号について、次のように教科書の構成に反映させたことが編修の趣旨である。

### 1号 (真理を求める態度・道徳心を培う)

⇒①英語素材には、高校生にとって身近な学校生活のほか、日常・社会・ビジネス・自然環境など、偏りのない多様なテーマや場面を取り上げる。②外国語の学習に必要な様々な側面を提示し、言語の統合的な理解を促す。③相手の気持ちを配慮しつつ意図を円滑に伝達するための知識やタスクを含める。

### 2号 (勤労を重んずる・自立心を養う)

⇒①社会人になって勤労に従事する際に有用な、伝達手法 (パラグラフライティング・プレゼンテーション・スピーチ・ディスカッションの基礎) の知識を提供する。生徒の発達段階を考慮しつつ (義務教育段階での学習内容の確実な定着も含む)、②生徒自身が目標を発見し、自ら学習意欲を向上させることを促し、③学習習慣をつけることのできる構成とする。

### 3号 (社会形成に参画する)

⇒生徒に親しみやすいテーマを設けて、クラス内で積極的な発言を促すタスクを課すことで、身近な社会形成に参加する喜びを与える。

### 4号 (環境保全に寄与する)

⇒自然や環境などのテーマについて調査・発表・議論するタスクを設け、思考力・判断力、表現力等を育む。

### 5号 (自国・他国の尊重)

⇒①異文化コミュニケーションをする上で有用な知識を提供し、言語や異文化に対する理解や関心が深まるように促す。  
②また、日本人が外国を訪れたとき、またはその逆に外国人が日本を訪れた場合に、しばしば出会う場面を想定し、実際にどのように相手を尊重しながらコミュニケーションを行えばよいのかを学ぶ素材を提供する。

## 2. 編修の基本方針

編修の趣旨に基づき、具体的には、次のように紙面デザインに反映させることを基本方針とした。

**1号**：①各レッスン4頁目には、生徒にとって身近で、偏りのない多様なテーマや場面を取り上げた。②言語を統合的に理解できるように、各レッスン1頁目には、「Small Talk (会話)・文法・機能 (言語の働き)・発音」の学習欄を設けた。③各レッスン4頁目の Listen and Speak は、相手の気持ちを配慮し、意図を円滑に伝達する方法を学ぶ場とした。

**2号:** ①本文コラムで、社会人になって勤労に従事する際に有用な、伝達手法（パラグラフライティング・プレゼンテーション・スピーチ・ディスカッションの基礎）の知識を提供した。②各レッスン1頁目にTARGETS、裏見返しにSTUDY FLOWを設けることで、常に生徒自身が具体的な学習目標を意識し、自ら学習意欲を向上させることができるように工夫した。③各レッスン1頁目では、当該レッスンで扱う学習項目の解説をし、その記述を生徒にとって分かりやすいものにする一方で、主体的に予習・復習する学習習慣をつけることができるように工夫した。

各レッスン1頁目

**1号:** ②Small Talk・文法・機能・発音の学習欄を設け、言語の統合的な理解を促す

**2号:** ③生徒が主体的に予習・復習する学習習慣をつけることができるように、学習項目の解説を工夫した

**2号:** ②各レッスン1頁目にTARGETSを設けて、生徒自身が目標を発見し、自ら学習意欲を向上させることを促す

裏見返し

本文コラム

**2号:** ②レッスンごとの学習目標を一覧で確認させる

**2号:** ②ゾーンごとの学習目標を意識させる

**2号:** ①勤労に従事する際に有用な、伝達手法の知識を提供する

**3号:** 各レッスン3頁目のConversationでは、生徒に親しみやすいテーマで表現させ、発表・共有を促すことで、身近な社会参加を体験させる。同様に、各レッスン4頁目のPair WorkとGroup Workでも社会参加・形成の喜びを体験させる。

**4号:** 各レッスン4頁目では、Read and Writeのいくつかで自然や環境などのテーマを取り上げ、それについて調査・発表・議



### 3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	箇所
Practice	生徒にとって身近で、偏りのない多様なテーマや場面を取り上げた。 (第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。)	各レッスンの1頁目
Small Talk, Grammar, Function, Sound Check	言語の統合的な理解を促す。 (第1号)	各レッスンの1頁目
Listen and Speak	相手に配慮し、意図を円滑に伝達する方法を学ばせる (第1号)	各レッスンの4頁目
・スピーチをしてみよう! ・パラグラフを書いてみよう! ・ディスカッションをしてみよう! ・プレゼンテーションをしてみよう!	勤労に従事する際に有用な、伝達手法の知識を提供する。 (第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自立の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。)	・56頁 (スピーチ) ・88頁 (パラグラフ) ・114頁 (ディスカッション) ・136頁 (プレゼン)
・TARGETS ・STUDY FLOW	生徒に具体的な学習目標を意識させ、学習意欲を向上させる。 (第2号)	・各レッスンの1頁目 ・裏見返し
Grammar, Function, Sound Check の解説	生徒に主体的な自主学習の習慣を身につけさせる。(第2号)	各レッスンの1頁目
・Conversation ・Pair Work, Group Work	Conversation では、生徒に親しみやすいテーマで表現させ、発表・共有を促すことで、身近な社会参加を体験させる。同様に、Pair Work と Group Work でも社会参加・形成の喜びを体験させる。(第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。)	・各レッスンの3頁目 ・各レッスンの4頁目
・Read and Write, Group Work	自然や環境などのテーマについて、調査・発表・議論をさせる。 (第4号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。)	頁 82、124、134
COMMUNICATION Tips ①～④	異文化コミュニケーションをする上で有用な知識を提供し、言語や異文化に対する理解や関心が深まるように促す。 (第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。)	頁 32 ①、46 ②、104 ③、130 ④
場面別英語表現	日本人が外国を訪れたとき、またはその逆に外国人が日本を訪れた場合に、高い頻度で出会う場面を想定し、実際にどのように相手を尊重しながらコミュニケーションを行えばよいのかを学ぶ素材を提供する。(第5号)	頁 138～147

#### 各レッスンの1頁目：

頁 15、19、23、27、33、37、41、47、51、59、63、67、71、75、79、83、91、95、99、105、109、117、121、125、131

#### 各レッスンの2頁目：

頁 16、20、24、28、34、38、42、48、52、60、64、68、72、76、80、84、92、96、100、106、110、118、122、126、132

#### 各レッスンの3頁目：

頁 17、21、25、29、35、39、43、49、53、61、65、69、73、77、81、85、93、97、101、107、111、119、123、127、133

#### 各レッスンの4頁目：

頁 18、22、26、30、36、40、44、50、54、62、66、70、74、78、82、86、94、98、102、108、112、120、124、128、134

#### 4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

豊かな人間性、創造性の獲得に資するため、紙面全体を通じて美しく読みやすいフォントや、色彩豊かなデザイン、イラストを用いるように心掛けた。(学校教育法第51条)

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
27-99	高等学校	外国語	英語表現 I	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
231 いいずな	英 I 340	be English Expression I Standard		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

英語の表現力を習得するのに必要な要素や視点（語彙・文法・機能・発音・場面・伝達手法など）について、文法エクササイズ・4技能を用いたタスクを通じて、学びやすい順序で適切な分量を提示するようにし、学習目標をレッスンごと、ゾーンごとに明示することで、生徒に英語で表現する意欲と主体性を持たせることに意を用いた。

基本シラバスは、中学校の学習内容の復習「Introduction (p.8)」に始まり、①導入→②基礎定着→③発展の3ステップ（4頁構成）を通じて英語表現を学ぶ構成とした。③の発展のステップでは、特に4技能を総合的に用いながら、情報を理解したり、生徒自らの考えを発信したりする力を養うことを主眼においた。

各レッスン内の①導入→②基礎定着→③発展の3ステップ（4頁構成）のそれぞれで採用したタスクでは、次のように、何を学ぶのか目的が明確で、紙面デザインも学習の開始からゴールまでの過程が分かりやすくなっていることが特色である。

●Introduction・・・中学校の学習内容を復習 (p.8)。

●Lesson 1～25・・・①導入→②基礎定着→③発展の3ステップ（4頁構成）の各タスクで、英語表現に必要な要素を学習。



タ ス ク 目 的	①導入(1頁目)			②基礎定着(2-3頁目) Grammar and Expressions / Exercises			③発展(4頁目) Practice				
	Small Talk	Grammar / Function	Sound Check	解説	Exercises	Conversatio n	Get Ready	Listen and Speak	Pair Work	Read and Write	Group Work
	場面 理解	文法/機能の 理解	音の理 解	文法	文法の定着	表現基礎	聞き取り 発音	短めの 会話表現	短めの 自由表現	読解と表現	長めの 自由表現

●TARGETS・・・各レッスンの1頁目にそのレッスンの目標として、暗記すべき例文を提示。

●Grammar Guide ①～⑧

●スピーチ・パラグラフ・ディスカッション・プレゼンテーション

●COMMUNICATION TIPS ①～④

●場面別英語表現 Scene 1～9

●コミュニケーションのための英語表現 ①～③・・・表裏見返しに、教室の内外で実際に使える英語表現を掲載。

●STUDY FLOW・・・各レッスンのゴール及び、1st Zone～4th Zone の4段階の学習ゴールを一覧で提示。

2. 対照表

(ア) 図書の構成・内容と学習指導要領に示す「内容」との対照表

Lesson	①導入 言語の働き／発音の関連	②基礎定着 文法との関連	③発展 言語使用場面との関連	該当箇所
1	あいづちで関心を示す /l/と/h/の発音	現在形	Self-Introductions 紹介	15-18
2	相手の発言を聞き直す /t/と/d/の発音	過去形と未来を表す表現	Holidays and Vacations 休日・休暇	19-22
3	相手に同意を求める /f/と/v/の発音	現在完了形 (have/has+過去分詞)	Travel 旅行	23-26
4	話を切り出す ed の発音	・過去完了形 (had+過去分詞) ・未来完了形 (will have+過去分詞)	Study 学習	27-30
5	依頼を受け入れる・断る つながる音① (連結)	助動詞①	Meals 食事	33-36
6	勧誘する つながる音② (同化)	助動詞②	School 学校	37-40
7	確信したことを話す th の発音	助動詞③	Home 家庭	41-44
8	されたことを話す /ɔ:/と/ou/の発音	受動態 (be 動詞+過去分詞)	Transportation 交通	47-50
9	お礼を言う /m/の発音	動詞のあとの語順 (SVOO と SVOC)	Friendship 交友	51-54
10	「がんばれ」と言ってはげます /n/の発音	不定詞①	The future 将来	59-62
11	話しかける 弱い発音と強い発音 (弱形と強形)	不定詞②	Health 健康	63-66
12	理由をたずねる o の発音	不定詞③	Sickness 病気	67-70

13	承諾する・承諾しない /ŋ/の発音	動名詞	Hobbies and Activities 趣味・活動	71-74
14	提案する 消える音 (脱落)	不定詞と動名詞	Communications 通信	75-78
15	感情を表す /s/の発音	分詞①	Nature 自然	79-82
16	ほめる /Nと/e/の発音	分詞②	Accidents 事故・災難	83-86
17	謝る /æ/の発音	関係詞①	Invention 発明	91-94
18	お祝いを言う 語尾のsの発音	関係詞②	Achievements 成果・業績	95-98
19	感想を言う /u/と/u:/の発音	関係詞③	Cities and Towns 都市	99-102
20	同じだと言う /k/と/g/の発音	比較①	Living Environment 生活 環境	105-108
21	存在を伝える /eɪ/と/eɪ.ɪ/の発音	比較②	Social Problems 社会問題	109-112
22	助言を求める /h/と/h:/の発音	仮定法①	Business ビジネス	117-120
23	念を押す /ʃ/の発音	仮定法②	Energy エネルギー	121-124
24	感想をたずねる /eɪ/の発音	接続詞と接続副詞	Globalization グローバル 化	125-128
25	約束する /p/と/b/の発音	that 節	Our Planet 地球	131-134

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所
●Listen and Speak ●Read and Write	4技能を総合的に育成し、的確に情報を理解したり、自らの考えを発信する力を養う。	各レッスンの4頁目
コミュニケーションのための英語表現①～③	授業をコミュニケーションの場面とするため、英語で行うことを基本とする。	見返し、裏見返し
●Sound Check ●発音記号と発音のしかた	音声指導の補助として、発音表記を用いて指導することができように、基本的な表記について指導する。	・各レッスンの1頁目 ・頁148, 149
●Vocabulary and Phrases (テーマごとに提示) ●Group Work	辞書の活用の指導などを通じ、生涯にわたって、自ら外国語を学び、使おうとする積極的な態度を育てるようにすること。(その他の例：図書館やインターネットなどを利用して情報を収集し、活用ができるように指導する)。視聴覚教材やコンピュータ、情報通信ネットワークなどを適宜指導に生かす。	各レッスンの4頁目 Group Work 頁82, 86, 94, 102, 120でインターネットや図書館での調査を促す。
●Pair Work	指導にあたり、ペア・ワーク、グループワークなどを適宜取り入れる。	各レッスンの4頁目

●Group Work		
場面別英語表現	ネイティブの協力を得て行なうチームティーチングなどの授業を積極的に取り入れ、生徒のコミュニケーション能力を育成するとともに、国際理解を深めるようにすること。	頁 138～147
COMMUNICATION TIPS ①～④	言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	頁 32, 46, 104, 130
パラグラフを書いてみよう！	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫し伝える能力を養う。	頁 88
ディスカッションをしてみよう！	論理的な思考力や批判的な思考力を養う。	頁 114
●Pair Work ●Group Work	与えられた条件に合わせて即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。	各レッスンの 4 頁目
Conversation	読み手や目的に応じて、簡潔に表現する。	各レッスンの 3 頁目
Group Work	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。	各レッスンの 4 頁目
●TASK! ●Get Ready	リズムやイントネーションなどの音声特徴、話す速度、声の大きさに注意しながら話す。	・各レッスンの 1 頁目 ・各レッスンの 4 頁目
●Get Ready ●Listen and Speak ●Read and write の空所補充	要点を示す語句や文、つながりを示す語などに注意して書く。書いた内容は読み返す。	各レッスンの 4 頁目
●スピーチをしてみよう！ ●プレゼンテーションをしてみよう！	発表の仕方や発表に必要な表現を学習し、実際に活用する。	・頁 56 ・頁 136
●Group Work ●ディスカッションをしてみよう！	書いたり読んだりした内容について、そこに示されている意見を他の意見と比較して共通点や相違点を整理したり、自分の考えをまとめたりすること。	・各レッスンの 4 頁目 ・頁 114

**各レッスンの 1 頁目：**

頁 15、19、23、27、33、37、41、47、51、59、63、67、71、75、79、83、91、95、99、105、109、117、121、125、131

**各レッスンの 2 頁目：**

頁 16、20、24、28、34、38、42、48、52、60、64、68、72、76、80、84、92、96、100、106、110、118、122、126、132

**各レッスンの 3 頁目：**

頁 17、21、25、29、35、39、43、49、53、61、65、69、73、77、81、85、93、97、101、107、111、119、123、127、133

**各レッスンの 4 頁目：**

頁 18、22、26、30、36、40、44、50、54、62、66、70、74、78、82、86、94、98、102、108、112、120、124、128、134

**(イ) 申請図書の内容のまとめりに著作者が予定している配当授業時間数**

配当時間	1 単元時間×25 レッスン=25 単元時間		1 単元時間×25 レッスン=25 単元時間
Lesson 1-25	①導入 言語の働き／発音との関連	②基礎定着 文法との関連	③発展 言語使用場面との関連



**Grammar Guide** ①～⑧・・・4 単元時間

スピーチ・パラグラフ・ディスカッション・プレゼンテーション・・・4 単元時間

**COMMUNICATION TIPS** ①～④・・・3 単元時間

場面別英語表現 Scene 1～9・・・9 単元時間

合計 70 単元時間